

第147回 運輸の日

運輸労連は、9日、大和市:東神トラックステーションにて『安全運転への呼びかけ』を行いました。

今回は、横浜地区連絡協議会のメンバー6人。高橋議長を中心とした超ベテラン軍団!

当日は、気温もグングン上がり21度、最高の行動日和になりました。しかし、固く閉ざされたカーテンに行動者もガッカリ!

今回も、『今年4月より、60時間超の時間外労働についての割り増し率が50%以上になる』労働者が損をしないように自身の労働時間を記録するように促しました。また、一般的には『2024年問題』として取り上げられているが、これは問題ではなく『改善』の一段階にすぎないのだ!



今日の行動者

- 高橋 徹 (ヤマト運輸労組横浜支部)
- 中野 一徳(全日通労組神奈川支部)
- 郷家 英樹(全日通労組神奈川支部)
- 阪本志津喜(日新労組)
- 佐藤井左夫(ヤマト運輸労組横浜支部)
- 長瀬 梓 (楠原輸送労組)

記)中野事務局長

行動者の感想

本日は横浜地区連での組織拡大行動でした。10時からでしたが、その時点でほぼ駐車場が満車だったので、入れ替わりもなく、ピラをあまり配布出来ませんでした。そんな中、どのドライバーさんも早く休息したいのに、ピラを気持ちよく笑顔で受け取っていただけ、とても嬉しかったです。自然とお疲れ様と安全第一で頑張ってくださいと声を何度も掛けさせていただきました。

ひとつ気になったのは、各トラックステーションが閉鎖や食堂の営業時間短縮とか、トラ協の経営状況とかどうなんだろうと、この先トラックドライバーさんの休息の場はどうになってしまうのか、非常に不安を感じました。



高橋 徹(ヤマト運輸労働組合横浜支部)

東神 TS にて横浜地区連 6 名でリーフレット配布を行いました。

配布する際にドライバーさんから「今日はアンケートないの?」ときかれ、「アンケートの時は協力するよ」と声をかけられました。この場所での取り組みの認知度の高さを改めて感じました。

直接的に組織拡大につながらないとして運輸労連の存在を広める取り組みとして続けていければと思いました。

中野一徳(全日通労働組合神奈川支部)

東神 T.S にて 10 時より運輸の日に参加しました。

2024 年問題は報道等で分かってはいるものの、自分に置き換えた時にどのようになってしまうのかまったく想像がつかない様子のドライバーさんが見受けられました。

阪本志津喜(日新労働組合)

今回、横浜地区連としてパンフレットの配布を行いました。皆さん快く受け入れてくれました。

中々、思うように配布できませんでしたが、地道な活動を継続して行く事に意義があり、運輸労連の仲間として、職場環境や労働条件の改善に一步一步進めて行ければと思いました。ありがとうございました。

郷家英樹(全日通労働組合神奈川支部)

横浜地区の組織拡大行動を3月9日に東神トラックステーションにて行いました。

今回は、今年4月より施行される60時間超えより残業代が5割増になる事や、2024年に働き方が改正されるリーフレットを配布させて頂きました。

いつも活動の場とさせて頂いているトラックステーションですが、長距離トラックの休息の場であり必要不可欠と感じていますが、本日施設内で告知されている貼紙を見た時に、青森のトラックステーションの閉鎖が目に入り、必要である施設の減少に運営の難しさや 2024 年問題に対して新たなる施策や設備の必要性を改めて考えさせられました。

佐藤井左夫(ヤマト運輸労働組合横浜支部)

今回初めて参加させて頂きました。自分が思っていたよりも、ドライバーの皆さんは心よく協力していただきました。

いつもなら貰う立場で何も考えもしなかったんですけど、逆の渡す立場になると、いろんな勉強になりました。

自分も今度貰う立場になったら心よく貰って協力したいと思いました。また勉強で参加したいと思いました。

長瀬 梓 (楠原輸送労働組合)

今日のメンバーも気にしていましたが、トラックステーションの閉鎖や、施設での食事やサウナなどの一部利用停止の報を見て、ここトラックステーションも『タダ』ではなく、管理費や修繕費もかかっている。東神トラックステーションだけなのか？全国のトラックステーションでも、尿の入ったペットボトルはあるのだろうか？以前にも述べたが、尿の処理にはお金がかかっている。自分たちで、休憩や休息場所を無くすような行為はやめていただきたい！

望月 博巳(県連)

